

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102245
法人名	石井オアシス・ケアサービス有限会社
事業所名	グループホームおあしす
所在地	松山市北久米町1004番地7
自己評価作成日	平成21年9月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員は、理念に沿った支援が出来るように、常に話し合い努力している。特に食事は、利用者の方の一番の楽しみですので、季節感のあるおいしい食事を提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

昨年5月に現在地に移転されたこともあり、事業所では地域との関係作りに努力されている。散歩時に、地域のお年寄りの方に「事業所にお茶を飲み立ち寄ってくださいね」と声かけされたことがきっかけとなり、ご自宅の庭のお花等を持って立ち寄ってくださり、現在は、運営推進会議等にも出席いただいている。事業所からは、手作りのお寿司等をおすそ分けされることもある。近隣のグループホームの夏祭りに出掛けられたり、利用者とともに遊びに来られることもある。

食事は事業所で手作りされており、利用者と職員は同じ食事を取っておられる。旬の野菜や新鮮なものを採り入れて調理されている。調査訪問時、利用者は、「もやしの根とり」をされていた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 石井オアシス・ケアサービス株式会社

(ユニット名) グループホームおあしす

記入者(管理者)

氏名 谷村 洋子

評価完了日

平成21年9月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎日の引き継ぎやミーティング時に理念を踏まえた上での個々のニーズや問題点を話し合い、ケアの向上に努めている。 (外部評価) 事業所は「安心して穏やかに過ごしていただく。家庭的な空間で過ごしていただく。」という理念のもと、「やさしさ」を大切に取り組みをすすめておられる。又、「地域の方々に気軽に來ていただけるような事業所」を目指して関係作りに努力されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 運営推進会議に地域の方々に出席してもらったり、地域の方が散歩の途中立ち寄りてもらい会話を楽しんだりしている。 (外部評価) 昨年の5月に現在地に移転されたこともあり、事業所では地域との関係作りに努力されている。散歩時に、地域のお年寄りの方に「事業所にお茶を飲み立ち寄りしてくださいね」と声かけされたことがきっかけとなり、ご自宅の庭のお花等を持って立ち寄りくださり、現在は、運営推進会議等にも出席いただいている。事業所からは、手作りのお寿司等をおすそ分けされることもある。近隣のグループホームの夏祭りに出掛けられたり、利用者とともに遊びに来られることもある。	管理者は、さらに地域とのつながりの輪を拡げていきたいと考えておられる。職員は「これからも日常的な地域とのお付き合いを大切にして、地域の行事等にも利用者と一緒に参加したい」と話しておられた。今後も、地域の方達との関係作りをすすめ、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるような支援に取り組んでいかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 町内会長・民生委員の方との連携をとり、また近隣の方からの相談や質問に対応している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2カ月に1回実施して状況報告をし、地域の方に相談したり意見をもらっている。	現在、会議は事業所の2階事務所で行っておられる。管理者は、運営推進会議を通して「地域の方に認知症やホームのことをよく知っていただきたい」と考えておられ、「今後は、利用者の生活を見ていただけるよう、利用者の生活空間である1階の居間で会議を開催し、利用者も交えた会議にしていきたい」と話しておられた。又、今後、会議の内容を便り等で、ご家族に報告していきたいと話しておられた。
			(外部評価) 会議には、民生委員や町内会の役員の方等にも出席いただき、事業所の活動や入居状況、外部評価結果等について報告されている。民生委員の方から民生委員の役割についてお話をいただいたり「法人代表者も会議に出席してほしい」との意見が出され、9月の会議には、代表者、センター長等も出席して、ご挨拶をされた。又、地域包括支援センターの担当者の方からは、バスとボランティアの運転手の方を紹介していただき、お花見の際に利用して外出を楽しまれた。	
4	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 民生委員の方や地域の方と行ききをししたりして、お庭の花をいただいたり、プランターの花を持ってきていただいたりしている。	
			(外部評価) 2ヶ月に1度開催されている地域包括支援センター主催の「グループホーム交流会」には、管理者、職員が出席され、困難事例についての意見交換等を行っておられる。管理者と職員は、市、地域包括支援センター主催の地域高齢者ボランティアの方の「ステップアップ講座」に参加され、又、実習も受け入れられた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 正しく理解はしているが、入浴時や夜間時は危険を回避する為、やむを得ない事もある。職員間での話し合いは常に行っている。	今後も、利用者の安全を守りながら自由な暮らしを支えていかれてほしい。さらに、全職員で身体拘束をしないケアについての勉強を重ねられ、拘束をしないケアの工夫に取り組んでいかれてほしい。
			(外部評価) 日中、玄関は鍵を掛けず、調査訪問時は、網戸にされていた。ご本人の状態によって、ご本人、ご家族の希望等もあり、相談の上で、夜間時ベット柵をされたり、転倒防止のため車椅子のベルトや居室の窓に鍵を掛けている方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 毎日の申し送りで、利用者さんの様子や変化を確認するとともに、大切なことは申し送りノートに記入して全員が把握するようにしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員全員に資料を回覧したり、ご家族との話し合いや相談にも対応している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご利用者やご家族等には丁寧に質疑応答を行い、理解・納得されるよう努力している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご利用者やご家族等の意見・不満・苦情等は真摯に受け止め、職員全員で話し合い支援出来るよう努力している。 (外部評価) 毎月お送りする書類とともに、職員の手書きの手紙や写真を同封されている。又、季節ごとに発行されている「おあしす便り」では、利用者の写真や事業所が取り組んでいる活動を載せ送付されている。ご家族の来訪時やお電話する際に、意見をうかがうようにされているが、現在はご家族からの意見は少ないようである。	管理者は、さらに、ご家族との関係作りをすすめていきたいと考えておられる。今後、さらにご家族からの具体的なご意見や要望が引き出せるよう、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回の経営会議で職員の意見・提案を提示して検討してもらうようにしている。	
			(外部評価)	
			管理者が「脳トレ」や「口腔体操」等、日々の取り組みについて提案して、職員の意見を聞いておられる。職員からは、ミーティング時に移乗の仕方等、ケアの工夫についてアイデアが出され、話し合われている。2か月ごとに法人内事業所合同の「おあしす勉強会」が行われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			極力 ガラス張り経営に心掛け 毎月 管理者を交えた経営会議を実施し、それぞれの立場での意見、要望を取り入れるように心掛けている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			運営推進会議等に出席して問題点や悩み等をお互い話し合ったりしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			実習生の研修を受け入れ、相互訪問の活動を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人が困っていること、不安なこと、要望を早く理解し、ご家族さんとも連絡を密に取りながら安心して生活ができるよう職員全員が話し合いながら努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族と相談の上、できる限りのサービスを提供するよう努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人とご家族が必要としている支援を理解するとともに、当施設のサービスを理解してもらい十分な支援ができるよう努力している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者との話し合いをする時間を多く取り昔話しや思い出話などお互いに話をしながら楽しい時間を大切にしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族が来訪されたときは、日頃の様子や出来事をお伝えし、電話等でも連絡を密にして信頼関係を築くよう心がけている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人の友人・知人が出来るだけ多く来訪してもらえよう、施設サイドの対応と気配りをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者のご自宅の近所の方が訪ねて来られたり、ご兄弟の方が来られた際には、お茶をお出しする等、ゆっくり過ごしていただけるよう気配りされている。ご家族が来られて、一緒に散歩に行かれたり、お墓参りやドライブに出かける方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者の長所・短所・生活歴等を把握し、多くの人と会話が楽しめるようサポートしていく。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ご家族に対しての電話連絡はもちろんのこと、近くに寄った際には面会しお話しして親しい関係を保つように努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご家族からの情報と日常の利用者の言葉や表現の中から希望をくみ取り全職員でケアにあたっている。 (外部評価) 職員は、利用者と日々かかわる中で、個々のことを知り得ておられる。	さらに、ご本人の「思い」や「意向」を探り、日々の生活支援につなげていかれてほしい。利用者個々のアセスメントの充実に取り組み、「その人らしい暮らしを続けるため」の支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族からは利用者のこれまでの生活や考え方などの情報を得るとともに、現在の様子を言葉や行動、表情等注意深く観察し検討している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者の心身状態を考え、ご本人の体調に合った生活のリズムを大切にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が望むことやご家族の要望等を聞き、月1回のミーティングの中で、職員の考え・意見を反映させたケアプランを作成し検討している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時等に、要望等をお聞きして、職員の気付き等を話し合い、介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各利用者の工夫や気づきを職員の伝達ノートに記入したり、日々の申し送りやミーティングで検討し、職員全員がその情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各利用者の趣味や好み等を活かし職員同士が話し合い、その方向に合った支援やサービスに取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の方との交流が楽しくできるよう手助けをしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			協力医療機関に週6回往診してもらい適切な医療対応を 行っている。	
			(外部評価)	
			協力医療機関には、24時間対応していただけるよう になっている。調査訪問時、かかりつけ医が往診に来 られており、ご家族には経過状況等を管理者が電話で 報告されている。利用者が医師に「今後もよろしくお 願いします」とあいさつされていた。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			日々の情報や気づきを看護師やドクターに伝え、適切 に体調管理ができるように支援している。	
			(外部評価)	
			日々の情報や気づきを看護師やドクターに伝え、適切 に体調管理ができるように支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			協力医院の地域医療連携室や先生と相談しながら、早 期退院できるよう対応している。	
			(外部評価)	
			協力医院の地域医療連携室や先生と相談しながら、早 期退院できるよう対応している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			終末期のあり方について、ご家族等と話し合い、意向 を確認している。主治医との話し合いも入念に行っ ている。	
			(外部評価)	
			ご家族と「看取りに関する指針」に基づいて話し合わ れている。これまでに、事業所で看取りを支援された 事例もある。入院が必要となり、退居された方のお見 舞いに行かれることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急対応マニュアルを作成し、全職員に周知徹底を図っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は消防署の指導により実施しており、緊急時の連絡先を掲示し全職員に徹底している。地域の方々にもご協力をお願いしている。 (外部評価) 年2回、避難訓練を実施されており、消防署の方からは、避難経路や救助方法等について、指導していただいた。運営推進会議では、災害時に地域の方に協力していただけるようお願いされている。12月に行われる、地域の防災訓練に参加する予定となっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) ご本人の性格や人生観を大切に言葉掛けや対応をするように心掛けている。 (外部評価) 管理者は、「老いは誰しも行く道、人生の先輩として優しく接するように」と日頃から職員に話されている。職員の利用者への接し方が慣れ合いになったり、言葉使いが気になるような場面では管理者が指導されている。	調査訪問時、管理者、職員の声の大きさやトーン等について気になる場面が見られた。又、職員が利用者何気なく掛けている言葉等についても、この機会に利用者やご家族の立場に立って全職員で点検されてみてはどうだろうか。さらに、事業所のさらなるケアの質向上を目指して、ご家族が来られた際や運営推進会議等の機会にご意見をいただければどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご本人が悩んだり迷ったりしている時は、思いや希望を理解し、自己決定ができるような支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			一人ひとりの生活力を考え楽しみや喜びのある日々を過ごせるよう散歩や買い物などなるべく希望に沿って支援するようにしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			散髪・カットは早めに職員が行い、身ざれいを心掛けて、入浴時の着替えの際はなるべくご本人に服を選んでもらうようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			食事の楽しみは特に大切にし、一緒に準備できる方はお手伝いをお願いしたり、片付けをしてもらったりしている。	
			(外部評価)	事業所では「食事」に特に力を入れておられ、利用者がおいしいものを食べられるよう取り組んでおられる。現在、食事時間は、職員が休憩を取る時間となっているが、利用者がおいしい食事をさらに楽しめるような職員のかかわり方の工夫について、この機会に考えてみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			食べる量は毎回記録し、水分量も職員が把握している。月1回体重測定をしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			食前には必ず嚥下体操を行い、食後は口腔ケアの介助や支援をしている。週1回は、入歯を洗浄液につけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ介助や声掛けをして失敗やおむつ使用を減らす努力をしているが、 (外部評価) 利用者個々に応じて、声かけやトイレ誘導をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェックをして、職員が把握し水分量や繊維質の採取を工夫したりして予防に取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 週2回以上入浴できるように支援し、午前中を入浴時間にしてはいる。午後は自室でお昼寝されたり、レクリエーション・機能訓練等を行っている。 (外部評価) お風呂から上がる際、ベビーオイルを体に塗って肌の乾燥を防ぐようにされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の利用者の意向を大切にして、ご本人のペースに合わせお昼寝をしていただいたり、夜間もご本人のペースで休んでいただいている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の利用者の薬の用法・用量を職員が理解し、日常の変化や症状を詳しく主治医に伝え用量等を変更してもらっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者の方が、出来ること・出来ないことを把握し、料理のお手伝いや掃除・洗濯をたたんでもらったりしている。時々、ボランティアの方に来訪してもらい唄や踊りを披露してもらい楽しんでもらっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 地域の方の助言等をいただきながら戸外に出かけられるように支援している。	
			(外部評価) 近くの川の鯉に餌をやりに行かれたり、車椅子を利用されている方も、近くのドラッグストアにおやつを買いに行けるよう支援されている。コスモス等、季節の花を見に出かけることもある。近々、外出に出かける予定となっており、個々でお好きなメニューを注文することになっている。	さらに、利用者一人ひとりの希望を探り、行きたいところや懐かしい場所を訪ねるような取り組みもすすめていかれてはどうか。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人のレベルに合った管理をしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 来訪が遠くて出来ないご家族には、電話で話してもらったり、手紙や写真で様子を伝えるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を生けたり、メダカを飼ったりして生活感・季節感を感じてもらえるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関前には、季節の花が植えられ、玄関には、大きなガラスの鉢にメダカを飼っておられた。居間からは、事業所前の駐車場の様子が見える。利用者が音読する童話や昔話の本が置かれていたり、食前に行う口腔体操時に使用する「カタパラ」と書いた紙が貼ってあった。調査訪問時、テーブルで繕い物をされたり、足し算引き算等の「脳トレ」に励んでおられる方もあった。</p>	<p>管理者は、「今後、居間の壁にボードを取り付ける等して、壁面をもっと活用できるよう工夫したい」と話しておられた。利用者は日中、居間で過ごされる方も多く、利用者個々がさらに心地よく過ごせるような空間作りに取り組みはてはどうだろうか。利用者の年代や生活習慣等もお聞きしながら相談されてみてほしい。</p>
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方向士がお話し出来るようフロアにソファを置いて共有空間を作っている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人の写真や制作した作品などを貼り居心地良い部屋になるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室のドアには、利用者個々に向けて管理者からのメッセージを添えた利用者の写真が貼られていた。居室には、テレビや椅子等を持ち込まれたり、ご本人が塗り絵を塗ったり数字を書いたカレンダーが飾られていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>洗面所の使用場所、入浴時のチェアー、トイレ等、ご本人に合わせた安全な場所・器具を使用してもらっている。</p>	